

第60回 北見菊まつり
2012年10月21日(日)～11月4日(日)

全道一の歴史とスケールを誇る「第60回きたみ菊まつり」が上記日程で開催されます。菊花コンクール展や菊人形展、菊花展(フラワーロード等)にて、約1万8000鉢の色鮮やかな菊花が来場される皆様を魅了します。

また、今回は60回目の記念事業として鹿児島県で行われている仙巖園(せんがんえん)の菊まつりとの菊花交流イベントや菊まつり初となる焼肉コーナーの設置、期間限定の夜間開放も実施されますので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

会場／北見駅南多目的広場(北見芸術文化ホール前)
住所／北見市泉町1丁目2-22
主催／北見市観光協会・北見市
主管／第60回北見菊まつり実行委員会

お問合わせ先

第60回北見菊まつり実行委員会事務局

〒090-0024北見市北4条東4丁目第1分庁舎(北見市役所観光振興室観光振興課内)
TEL.0157-25-1244 FAX.0157-25-1391

平成24年度
北海道開発局優良工事等表彰において
開発局長賞と部長賞を受賞



中列左から6人目が代表取締役・加藤和雄、左に八木敏雄常務



前列左から2人目、代表取締役・加藤和雄

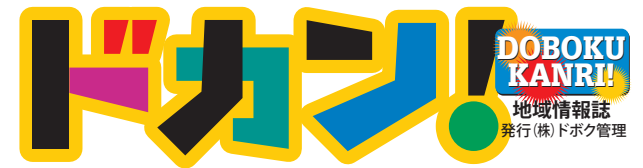
この度は、関係者を始め多くの方々のご尽力を頂きまして、平成24年度北海道開発局優良工事等表彰において、業務部門で「富良野盆地地区 宇文南区区画整理設計等業務」が北海道開発局長賞を、「一般国道238号 紋別市 沼の上道路実施設計業務」が網走開発建設部長賞を受賞することが出来ました。

今回の受賞を励みとして、より一層、品質確保・向上に努め、顧客満足が得られる成果を収められるよう日々努力して参ります。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

建設コンサルタント業・測量業・補償コンサルタント業・建築設計
ISO 9001 : 2008認証登録



本社 ●〒090-0801 北見市春光町1丁目24番地3 TEL.0157-26-3321 FAX.0157-22-7508
札幌支店 ●〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号 TEL.011-708-0708 FAX.011-708-7700
旭川支店 ●〒070-0831 旭川市旭町1条13丁目688番144 TEL.0166-54-7270 FAX.0166-51-1363
網走出張所 ●〒093-0076 網走市北6条西3丁目3番地 TEL.0152-43-4150 FAX.0152-43-4160



ホームページ <http://www.dobokukanri.co.jp/>



システム開発部門

Windows、今後の動向。

おんねゆ温泉 山の水族館
大人が子供に還る場所
子供が大人になれる場所

株式会社ドボク管理

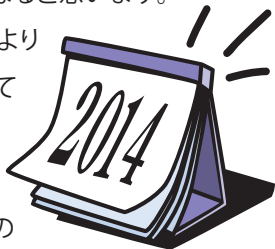
システム開発部門 Windows、今後の動向。

Windows XPのサポートが 2014年4月8日で終了します。

サポートが終了するとセキュリティ更新プログラム (Windows Update) が提供されなくなり、重大な脆弱性が発見されても修正する事が出来ず、無防備のままパソコンを使用する事になります。現在Windows XPを利用している方はサポート終了日までにWindowsのアップグレードを考える必要性が出て来ます。

Windows 7や新しく発売されるWindows 8が選択肢になると思いますが、32ビット版と64ビット版どちらを購入すれば良いのか頭を悩ませる事になると思います。

パソコンは半導体技術等の向上により安くて高性能なものへと年々進化しています。メモリ容量も8GB、16GBを搭載するパソコンも珍しくありません。



ここで問題となるのがWindowsのエディションです。

32ビット版のWindowsではいくらメモリを搭載しても3GB前後しか扱う事が出来ません。(理論上は4GBまでですが実際に扱える容量は3GB前後)

3GB以上のメモリを扱えるようにするには64ビット版のWindowsを使う必要があります。

しかし、今までWindows XPで使用してきたソフトウェアは32ビット版のプログラムであり、64ビット版のWindows上で動作しない可能性があります。

プリンタ等の周辺機器も同様に64ビット版のドライバが提供されていない場合は利用する事が出来なくなります。長く使っている古い周辺機器をそのまま使いたい場合は注意が必要です。

では、64ビット版の最大のメリットである「扱えるメモリ容量が多くなる」とパソコンの動作はどう変わのでしょうか？

図書館を例にしてみましょう。図書館の本棚をハードディスク、机の大きさをメモリに置き換えて説明します。

調べ物をする時は本棚へ行って関連書籍を探し、机の上に資料として置きます。机が狭いと置ける資料の数が少なく、新しい資料を開きたい場合は他の資料を一度本棚に戻し、新しい資料を持ってきて机に置く動作が必要になります。

調べ物が多くなれば多くなるほど、本棚と机を行き来する回数が増えますので効率は悪くなります。

机が広いと沢山の資料を置く事が出来るので本棚への行き来が減って効率が良くなります。また大きな地図や図面を広げる場合も見やすくなります。

パソコンのハードディスクがガリガリと音を立てて動作が鈍くなる場合がありますが、これはメモリ容量が足りずハードディスクをメモリ代わりに使うための作業に処理能力を奪われてしまうからです。

メモリはハードディスクに比べて非常に高速であるため、なるべくメモリ上に必要なデータを置いておく方が高速に処理する事が出来るのです。

また、ソフトウェアをいくつか同時に使用する場合もメモリ容量が多いほどストレスなく使用出来ます。Windowsをアップグレードする場合やパソコンを買い換える場合、まず自分の使用用途は何かを考えてみると良いでしょう。

ゲーム、3DCG、CAD、データベース、ビデオや動画の編集



など、扱うデータ容量が多いソフトを利用する場合は、メモリが多いほど快適に動作させる事が出来ます。

インターネット、メール、年賀状の作成程度であれば、メモリの容量はさほど必要ありません。前者であればメモリ容量の多いパソコンと64ビット版Windows、後者であれば今まで使用してきたソフトや周辺機器が流用出来る32ビット版Windowsを選択すると良いと思います。

Windowsの登場で16ビットの時代から瞬く間に32ビットの時代へと変わりました。近年パソコンのスペック向上により64ビットの時代になろうとしています。

MicrosoftもWindows Vista発売と同時に64ビット版への移行を推奨しています。

ソフトウェアや周辺機器も徐々に64ビット版へ対応してきています。64ビット版が当たり前になる時代はすぐそこまで来ています。



おんねゆ温泉 山の水族館

大人が子供に還る場所 子供が大人になれる場所

今回の特集記事は、今年7月7日にリニューアルオープンした北見市留辺蘂町温根湯にある「おんねゆ温泉山の水族館」を特集いたします。

その名の通り、海からかけ離れた周りを見渡せば緑溢れる山合に水族館があります。外観やロビーは木材を多用した建物となっており、「山の水族館」という名称がしっくりくる印象を受けます。

また、お魚達も普通の水族館ならば海水魚メインの展示ですが、こちらの水族館は淡水魚約50種類ほどがお出迎えしてくれます。

また、山の水族館は日本唯一の水族館プロデューサー中村元（はじめ）氏がプロデュースした世界初（川が凍る水槽）・日本初（滝つぼ水槽）の水槽があるのが特徴です。山の水族館を見る時に欠かせないキーワードが「水塊（すいかい）」。他の水族館では感じる事の出来ない「水の動き」とそれに連動して元気に泳ぐ魚達の動きを見るこ

とができます。そして室内の照明を暗くすることにより、自分が水中を泳いで探索をしている様な感じを受けます。

「水塊」と言うキーワードはイメージがつかない方が多いと思いますが、実際に館内を見て回ればどういう事を指す言葉なのかかわかると思います。



山の水族館

以下になることも多く、外気温に直接さらされると川の表面が凍結し、結氷した川の中で魚達がどのようにして過ごしているのか鑑賞することができます。

寒さが厳しい地域にお住まいの方は川面が結氷するのを知っていても、その下の魚達の様子まで知っている人はほとんどいないんじゃないかと思います。

外気温や天候に左右される水槽なので、春夏秋冬違った趣を楽しめる水槽となっています。

イトウの大水槽

照明が落とされた室内。幻想的な蒼い光が水槽内を照らし神秘的な空間を創り出します。そんな幻想的な水槽で悠然と泳ぐのは、日本最大の淡水魚イトウ。体長1m級のイトウが群れをなして泳ぐ姿は圧巻の一言です。

その他にも、水位の変化を感じて上流にジャンプする魚を見ることが出来る『川魚のジャンプ水槽』や色とりどりの魚達が見る者を魅了する『世界の熱帯淡水魚コーナー』、手足の古くなった角質を取ってくれるドクターフィッシュを体験出来る『ふれあいタッチコーナー』等もあり、子供から大人まで楽しめる水族館となっています。



いろいろな水槽

日本初!! 滝つぼ水槽

こちらの水槽が日本初となる水槽です。その名の通り、半ドーム状の水槽から見える風景はまさしく滝つぼ。上から勢いよく落ちてくる大量の水が複雑な水流を作り、流されないようと必死で泳ぐ大量のオシロコマを見ることが出来ます。オシロコマがひらひらと身体を左右にひねると、美しい銀鱗が水の中で映えて、言葉では言い表せないような美しさです。こちらの水槽は撮影スポットにもなっているようで、皆さん元気に泳ぐオシロコマと記念撮影されていました。



滝つぼ水槽

世界初!! 四季の水槽（川が凍る水槽）



四季の水槽

こちらが世界初となる水槽です。水族館外の庭を掘り川を再現したという水槽で、川の中で力強く泳ぐ魚達の躍動は一見の価値ありです。

ここ留辺蘂町温根湯では冬になるとマイナス20℃

身近にいた魚達が環境破壊や乱獲によって、今や身近な存在ではなくなってきている現代。川遊びや川釣りなどの経験が少ない子供達にとっては、「山の水族館」は川魚の生態を間近で見られる教育の場としての一面もあるように思います。

おじいちゃんやお父さんが、孫や子供達に魚の説明を自慢気に行っている姿や、「今度釣りに行こうか？」と水槽前で楽しく談笑している姿がとても印象的でした。子供はもちろんのこと、大人も主役になれる「山の水族館」一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



熱帯魚水槽

おんねゆ温泉 山の水族館

〒091-0153 北見市留辺蘂町松山1番地4
TEL.0157-45-2223 FAX.0157-45-3374
ホームページ: <http://onneyu-aq.com/>

利用料金

一般: 通常670円、団体割引510円、年間パスポート1000円
中学生: 通常440円、団体割引370円、年間パスポート 660円
小学生: 通常300円、団体割引200円、年間パスポート 450円

開館時間(4月~10月は無休)

夏期間(4月~10月): 午前9時~午後5時
冬期間(11月~3月): 午前10時~午後4時

休館日(冬期間)

● 毎週月曜日
● 毎月第1と第3火曜日
上記が各祝日の場合は、その翌日が休館
年末年始は12月28日~1月5日まで休館



幻の魚といわれる、イトウの水槽